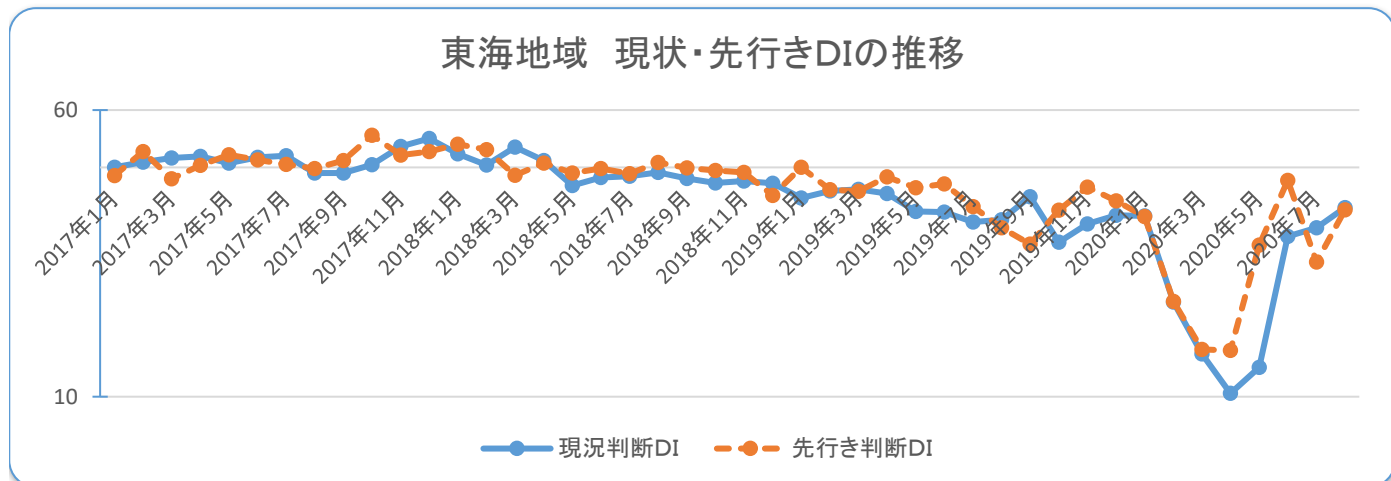


東海地域 現状・先行きDIの推移



◆東海地方 2020年8月 景気判断理由 一部抜粋

	分野	判断	判断の理由、追加説明及び具体的状況の説明、回答者属性
現状	家計動向関連	やや良	《販売量の動き》新型車効果もあり、販売台数が徐々に増えてきており、前年並みで推移している。新型コロナウイルスの影響で悪かった4～6月の反動と思われる。【乗用車販売店（従業員）】
		不変	《お客様の様子》助成金、給付金や貸付け等の支援策も、このような状態では一時的でしかない。根本的な対策を講じていかないといけない。【その他飲食【仕出し】（経営者）】
		やや悪	《販売量の動き》新型コロナウイルスの影響により、商業施設を中心に新築工事、改装工事共に延期、中止となっている。一般の工事も同様にストップしている現場もあり、少なくとも今年一杯は良くならない。【住関連専門店（営業担当）】
	企業動向関連	やや良	《受注量や販売量の動き》3か月前と比較すれば、受注も増加し売上は回復傾向にある一方、前年同月比でみると、やはり新型コロナウイルスの影響による自粛等の影響で、前年の売上を下回っている。【会計事務所（職員）】
		不変	《受注量や販売量の動き》外出自粛の影響を受けて家庭内消費は好調な一方、外食向け業務用需要が不調で、差引きマイナスの影響が依然強く出ている。【食料品製造業（経営企画担当）】
		やや悪	《受注量や販売量の動き》新型コロナウイルスの影響で、客先では設備投資を行うまではいかず閉店も続いているため、製品出荷とならない状態が続いている。【電気機械器具製造業（経営者）】
	雇用関連	やや悪	《求職者数の動き》新規求職者が増加しておらず、落ち着いている。【職業安定所（職員）】
		不変	《求人数の動き》有効求人数、有効求職者数共に増加しているが、新規求人数と新規求職者数はほぼ同数であるため、大きな変化はみられない。【職業安定所（職員）】
		やや悪	《求人数の動き》新規求人数が前年同月比及び前月比共に減少している。前年同月比では27%を超えるマイナスとなっている。【職業安定所（次長）】
先行き	分野	判断	先行きに対する判断理由、回答者属性
	家計動向関連	やや良	新型車の受注も好調で、前年並みに販売台数は伸びていくと思われる。ただ、納期が掛かるため売上にはなかなか結び付かない。【乗用車販売店（従業員）】
		不変	普通であれば結婚式やいろいろなイベントがあるが、新型コロナウイルスの影響により来客数が減っており、現在と変わらない状況になるとと思われる。【美容室（経営者）】
		やや悪	どこにも出掛けられず家庭での支出の大半を食費に充てるのは変わらないが、年末までは、客単価、来客数共に厳しい流れになる。【スーパー（店長）】
	企業動向関連	やや良	現在は新型コロナウイルスの第2波が来て将来不安があり、皆が慎重に動いているが、景気単体でみると将来的には回復傾向が大きいと、少し景気が良くなるイメージである。【金融業（従業員）】
		不変	新型コロナウイルス禍にあるが、第2波の感染拡大が収束すれば、もっと景気が回復するかもしれない。【輸送用機械器具製造業（管理担当）】
		やや悪	新型コロナウイルス禍で、政治家には指導力もなく健康面の不安もあり、また対策に関心がないような政治家もいて、この先景気が良くなるとは思えない。【建設業（経営者）】
	雇用関連	やや良	下半期に向けた企業側の採用の動きが出てくる可能性がある。【求人情報誌製作会社（営業担当）】
		不変	雇用調整助成金の申請はまだ多くの企業で続いており、新型コロナウイルス感染症の影響により、先行きは不透明である。【職業安定所（所長）】
やや悪		新型コロナウイルス感染の拡大状況が落ち着かない限り、新規求人数の増加は見込めない。同時に、雇用の減少が続くと景気に影響を及ぼすと考える。【職業安定所（次長）】	